

演劇空間スペースベン

青函連絡船で 「踊りに行くぜ！」

〈文・劇団M'S PARTY 吉田みちる〉

○公演データ
10月13日(金)19:00・14日(土)18:00
青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸



山
々が色付き始めた10月13日、14日。今年2回目となる「踊りに行くぜ！」が、青函連絡船の中で行われた。

金属の階段をガンガンと鳴らしながら、八甲田丸の船底に初めて入る。そこには役目を終えた古い電車が眠り、何も飾らない、暗くて冷たいその場所を、照明スタンドが四隅から照らし、ステージを

創っていた。

開演。非常灯だけを残した薄暗いの中、最初の出演者がスタンバイ。灯りがつくと柱の向こう側から液体と空気だけしか入っていないような体の一部が現れた。

青森市在住の長内真理さんの「0 to 1」は、鋼の軋むような音の中でゆっくりと始まった。

床や柱への触れ方に体のひとつひとつの細胞が反応していく。骨が無いのではと思わせる柔軟な肉体。床と同化していた体が次第に地球全体からのエネルギーを吸収して生成されていく。やがてもつと伸びたいと天に向かって動き回る。ラストはステージの奥に出来た水溜まりへ裸足で入り、水を得た喜びを表していたのか？ モノ言わぬ細胞の叫びが胸に響いた。

「椅子のある部屋」と題された2組目は、京都から参加した松本芽紅見さんと森川弘和さん。無音の中、お互いの呼吸や布ずれ、足音等をたよりにリズムを作り上げていく。近くにいっても他人の二人は、互いのパーソナルスペースを守っている。それが一つの部屋に滞在する時間が長くなるにつれ、距離は縮まり緊張感が解けていく。そして近くになることが自然となり、心地よくなっていく。初めて体が触れた時の衝撃と戸惑い。肌が触れても嫌悪感を覚えない相手に興味を抱いていく。芽生えた恋心。互いに揺れる心のやり取りを柔軟な筋肉と独特な空気感で表現していた。

3組目からは、ステージを甲板に移動し、いよいよ後半スタート。大音量のアップテンポな音楽「子

羊たちの夕焼けボート」の始まりだ。先ほどまで狭くて殆ど音のない空間にいたので、一気に開放されたような気がした。

半袖のTシャツにブルーの短パンが二人。ピンクのミニスカートが二人。オスとメスを表しているのだろうか。若さ溢れる乙女ユニット「ピンフ」だ。可愛らしい顔に逞しい(？)肉体。素足だつて全然平気だ。体を寄せ合い生きていく子羊が、無邪気に戯れる様子や互いの足を引っ張り合争う姿等は、力を抜くことなく本気で体を動かして続いている。広い甲板を大きく使い、時には船から落ちるのではないかと思うようなアクロバットの動きを見た。

続いて4組目。この日、最後のパフォーマンスだ。デイスコ全盛時代のソウルフルな音楽が甲板上に響き渡る。船首の下から音に負けないド派手なアフロヘアのスタイルで近藤良平が登場してきた。格好良く登場してきて、すぐに

衣装替え。一言「おう、しばらくのなあ」と声をあげた。スタッフに方言を教えてもらったのだろうか。小さな椅子に50cm位の三つ編みの人形をセット。画用紙もある。娘に見立てた人形を喜ばせようと近藤パパは奮闘するのだ。しかし画用紙を通して伝えられる娘の反応は、「パパ面白くない」「格好悪い」といったものばかりだ。面白く動けば動くほど男の哀愁が漂ってくる。滑稽な動きの中で時折見えるスマートなポーズ。ただの「お笑い」ではない。流石である。

4組のパフォーマンスが終わり船内で「初日飲み」。ダンスで見たそれぞぞれの世界の中でのカオスとは違う、「素」の表情に戻った出演者たちが、そこには居た。

次回、青森で上演するときは、皆さんも足を運んでみてはいかがだろうか？ 思いがけない出会いや発見！そして新しい感性に触れることが出来るかもしれない。

12月12日 Friday Amusement Negative Shop

■12月1日(第669回)
【だべり場 crossing cafe file.42】～12月の1～
案内人:田中勉

■12月8日(第670回)
【だべり場 crossing cafe file.43】
匿名掲示板風に語れ！ 今年も終わりそうだ
案内人:安達良春

■12月15日(第671回)
【だべり場 crossing cafe file.44】～12月の2～
案内人:田中勉

■12月22日(第672回)
タイトル:生臭坊主(一人芝居)
作・演出:流王/出演:榎田祐介

■12月29日(第673回)
勝手に忘年会
構成:FANS

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金/一般500円 高校生以下100円 ※料金改定しました！ 高校生以下は、特別番組以外100円でご覧になれます。チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

tsutomu_tanaka ☎070-5095-2028
スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス owner@spaceben.com

■演劇空間 スペースベン
八戸市柏崎 1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 050-3588-8350

みちのくりサイクルフリーマーケット情報

いよいよ冬到来！フリマも屋内開催のみの限定になって、ともすれば寒いのを我慢しつつの秋フリマとは違って又クワの建物の中での開催がメインとなります。とは言うもののやっぱり屋外開催が無くなると全体の開催数でも1会場の出店規模でも少し寂しい感じはしますが、ココはジツと耐えて春を待つのが東北人ってもんですから頑張りましょうね。さて、冬場のフリマと言えばやはり冬物を探す方が多いと思いますが、フリーマーケットでは衣替えが始まる時期にタンスの整理をして不用になったモノが出て来ますので、会場ですでに冬モノが幅を利かせています。東北の冬は長いですからもう一枚欲しかったコートやセーターはフリマで調達！なんてのはいいかたでしょうか？ 寒くなってもある程度のペースを守ってフリマの安定供給に勤めていきますので応援ヨロシクお願いいたします。

12月～のフリーマーケットスケジュール

12/3(日)	cincoフリーマーケットフリーマーケット	八戸
10(日)	フリーマーケット血印シロシロシロ	浪岡
17(日)	イグニスールセーター+細田スリットフリーマーケット	十戸
23.24	イグニスールセーター+細田スリットフリーマーケット	下田
24(日)	八甲田丸船内フリーマーケット	青森

■出店には事前にご予約が必要です。
お申し込みお問い合わせは 0178-22-5629 みちのくりサイクルまで。
ホームページもヨロシク！ <http://www.hi-net.ne.jp/~gbb/>